

第83回 福証IRフェア 会社説明資料

自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く



西部電機株式会社

(東証二部・福証 証券コード6144)

2018年2月27日

会社概要

商号	西部電機株式会社 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
証券コード	6144
上場	福証 (昭和61年) 東証2部 (平成18年)
本社	福岡県古賀市駅東3-3-1
創業	1927年 (昭和2年) 1月
資本金	26億58百万円
発行済株式数	15,160千株
時価総額	194億 4百万円 (2018年2月26日現在)
売上高	240億19百万円 (2017年3月期：連結)
従業員	473名 (連結) 418名 (単体)
グループ会社数	3社 西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、 西部ペイント株式会社
HPアドレス	http://www.seibudenki.co.jp/

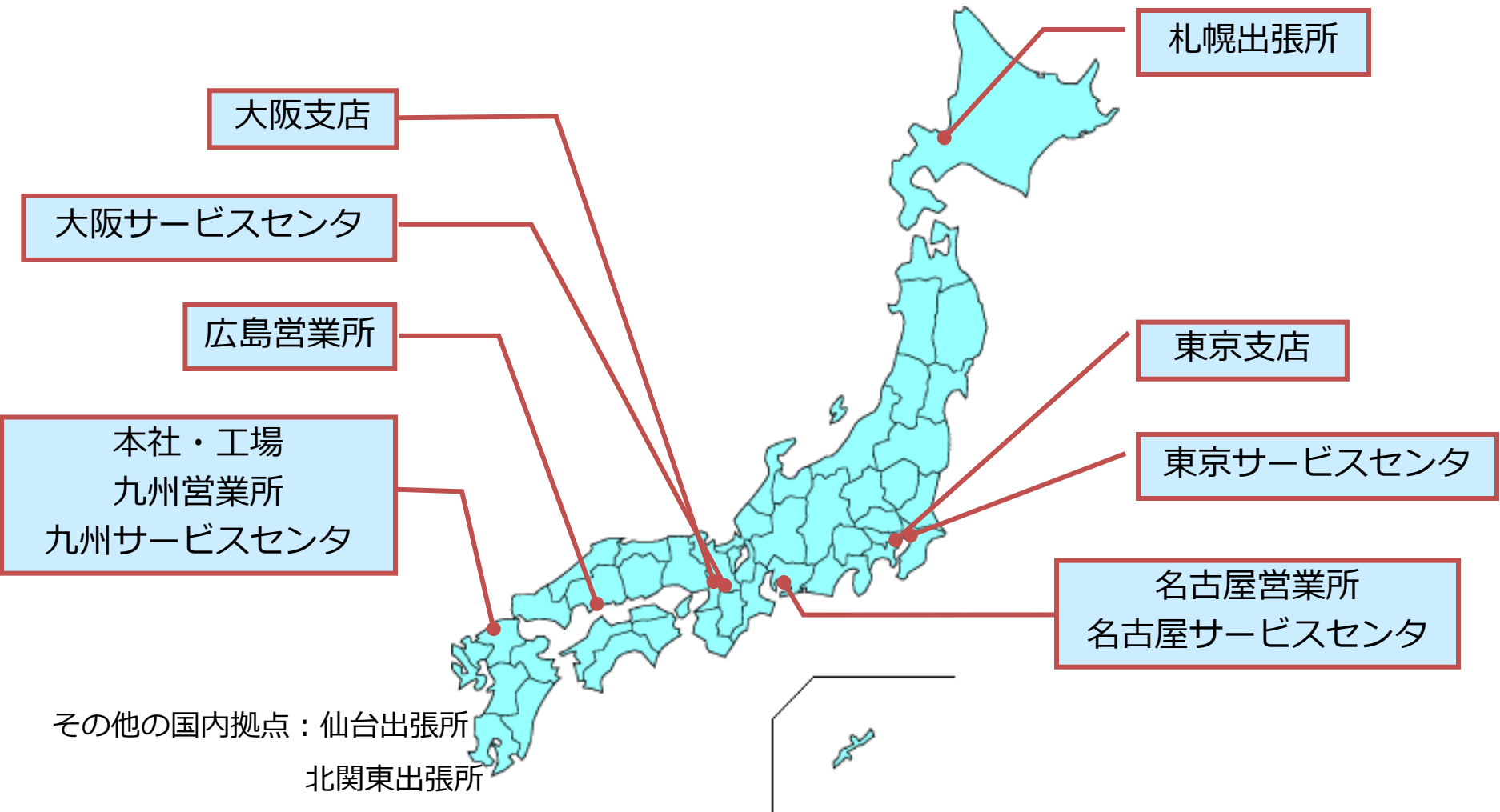
会社沿革

- 1927年（昭和 2） 福岡市で西部電気工業所として創業
- 1939年（昭和14） 西部電機工業株式会社設立
- 1942年（昭和17） 福岡県糟屋郡古賀町（現 福岡県古賀市）に移転
- 1954年（昭和29） バルブコントロール製造販売開始（産業機械事業スタート）
- 1959年（昭和34） 工作機械（旋盤）の製造販売開始（精密機械事業スタート）
- 1966年（昭和41） 立体自動倉庫第1号機完成（搬送機械事業スタート）
- 1972年（昭和47） 世界初のCNC方式ワイヤ放電加工機を開発
- 1986年（昭和61） 西部電機株式会社に社名変更
- 福岡証券取引所に上場**
- 2006年（平成18） **東京証券取引所市場第二部に上場**
- 2007年（平成19） 本社社屋、産業機械工場、加工センタ工場 竣工
- 2008年（平成20） 搬送機械工場 竣工
- 2012年（平成24） 精密機械工場 竣工
- 2015年（平成27） 多目的工場 竣工
- 2017年（平成29） **創業90周年**

本社・工場全景



全国の主な事業所



海外（中国、ドイツ）に駐在事務所

『 超精密とメカトロメーションの追及 』

搬送機械事業

コンパクトで経済的なシステムを構築できる当社独自の技術力と、ソフトウェア開発を組み合わせた「総合物流ソリューション」を提案しています。



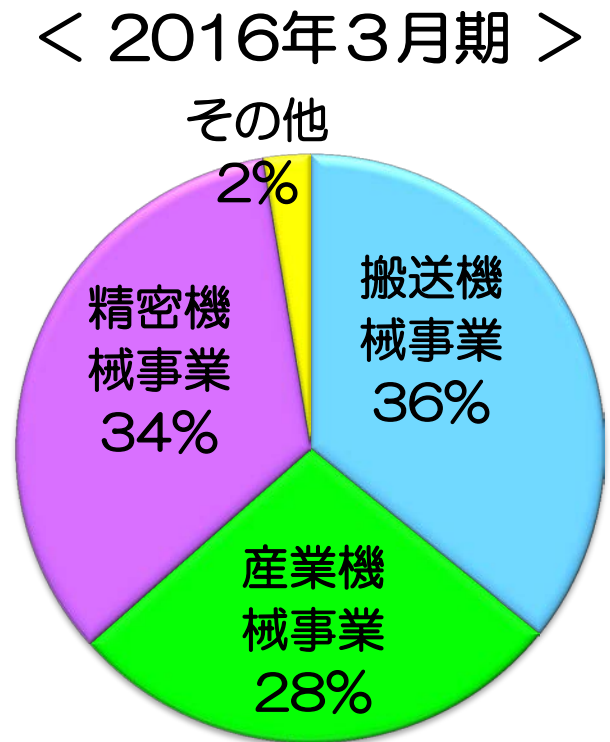
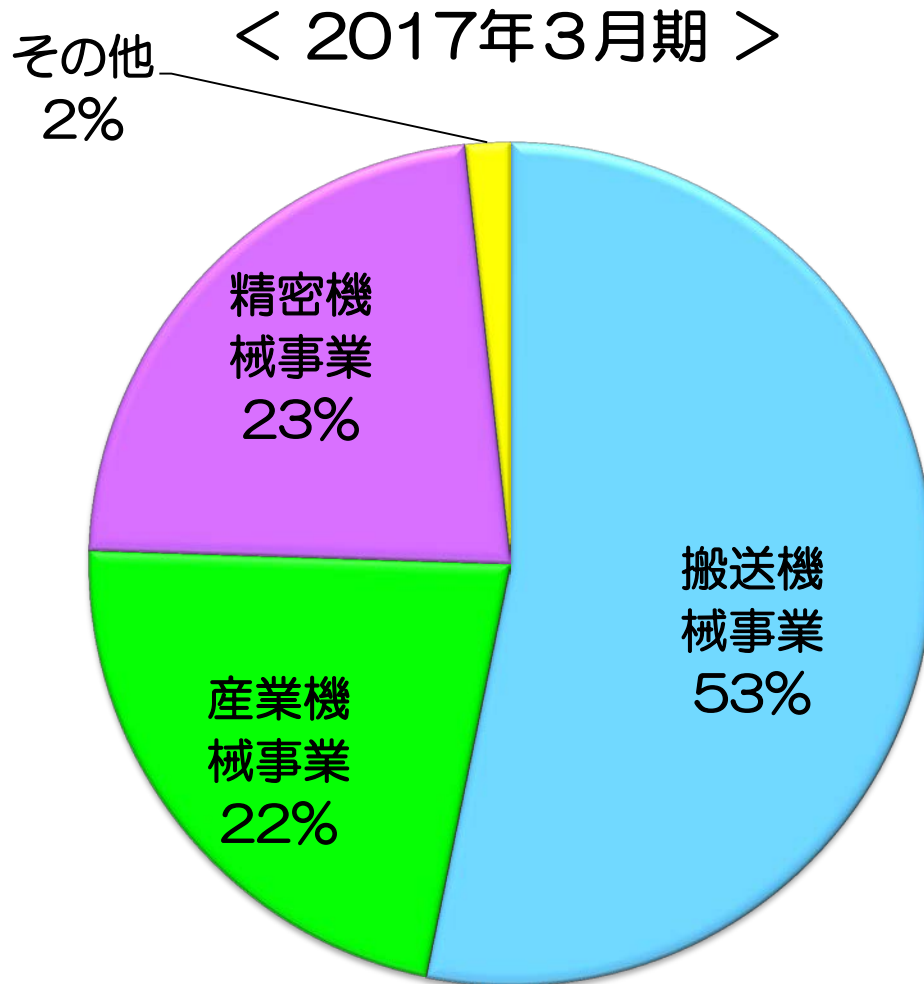
産業機械事業

水・電気・ガス・石油などエネルギーを暮らしに導くため大切な役割を担うバルブアクチュエーターとゲート駆動装置を提供しています。

精密機械事業

ピッチ加工精度で定評のワイヤ放電加工機、小物精密部品加工に応える NC旋盤、自由形状加工を可能とした切削加工機などを開発しています。

セグメント別 売上高比率



「チャレンジ 200」中期経営計画

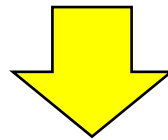
当社は、「超精密とメカトロメーション」を追求する「ものづくり企業」として、保有するあらゆる経営資源を結集し、お客様の生産性、利便性の向上に貢献する商品、サービスを市場に供給するとともに、各ステークホルダにご満足いただくように健全で継続的な成長経営を実践します。目標達成のために、3カ年の経営計画（チャレンジ200）を定め、今年度が最終年となります。

- (1) チャレンジ精神で新市場を勝ち取ろう。
- (2) お客様のベストパートナーをめざし、より多くのロイヤルカスタマを獲得する。
- (3) 標準化とコストリダクション、さらに高い品質確保を進め、商品力の向上を図る。
- (4) 海外、特に中国地区への積極展開を図り、H29年度海外売上比率を23%以上とする。
- (5) 次世代事業の中核となるような、新商品・新事業の開発を推進する。
- (6) 3D技術の重要性を理解し、図面の3D化、開発・標準化・CDへの活用を推進する。

『常時売上高200億円』体制に向けた基盤づくり

2018年3月期 経営目標

- 受注高 254億円
- 売上高 208億円
- 経常利益 16億5千万円



重点施策

『受注の確保』 『コストの削減』 『品質の向上』

『受注の確保』

- ◆ 「深刻化する人手不足に対応した省人化や自動化投資」の機運の高まり。労働力不足は自動化や無人化システムの提案のチャンスと捉え、積極的に市場の要求に対応する。
- ◆ 新市場を開拓するため市場の要求を正しく把握し、「スピード」を意識して新商品の開発に取り組む。

『コストの削減』

- ◆ コスト競争力と管理力の強化が必須。設計と資材調達の改革に、最優先で取り組む

『品質の向上』

- ◆ 品質は企業の命であり、客先より信頼を得るための必須条件である。各プロセスでのDRと検査を強化し、製販一体となって品質の向上に取り組み、顧客満足度の向上に努める。

2018年3月期 業績予想

単位：百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比(%)	2018年3月期 第3四半期実績	年度計画 進捗率(%)
受注高	18,594	25,400	36.6	22,599	89.0
受注残高	5,441	10,041	84.5	12,572	125.2
売上高	24,019	20,800	△ 13.4	15,468	74.4
売上原価	18,804	15,285	△ 18.7	11,123	72.8
営業利益	1,527	1,600	4.8	1,355	84.7
営業利益率(%)	6.4	7.7	20.3	8.8	114.3
経常利益	1,595	1,650	3.4	1,402	85.0
当期純利益	408	1,040	154.9	954	91.7
1株当たり 純利益(円)	26.96	68.65	—	63.00	—

➤ 18年3月期のポイント

- 受注高は、円安による輸出の増加や大口物件の成約により高水準を見込む。
- 売上高は、大型物件の売上計上が無く対前年比約13%減収を見込む。
- 営業利益・経常利益は、原価低減（コストダウン）の成果により、増益を見込む。
- 当期純利益は、対前年比約154%増益を見込む。

2018年3月期 セグメント別 売上高予想

単位：百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比(%)	2018年3月期 第3四半期実績	年度計画 進捗率
搬送機械事業	12,780	7,200	△ 43.7	5,664	78.7
産業機械事業	5,357	5,600	4.5	3,317	59.2
精密機械事業	5,463	7,400	35.5	6,070	82.0
その他事業	417	600	43.9	416	69.3
合計	24,019	20,800	△ 13.4	15,468	74.4

➤ 18年3月期のポイント

搬送機械事業 : 新商品の開発と拡販。

産業機械事業 : システム販売で付加価値UP。

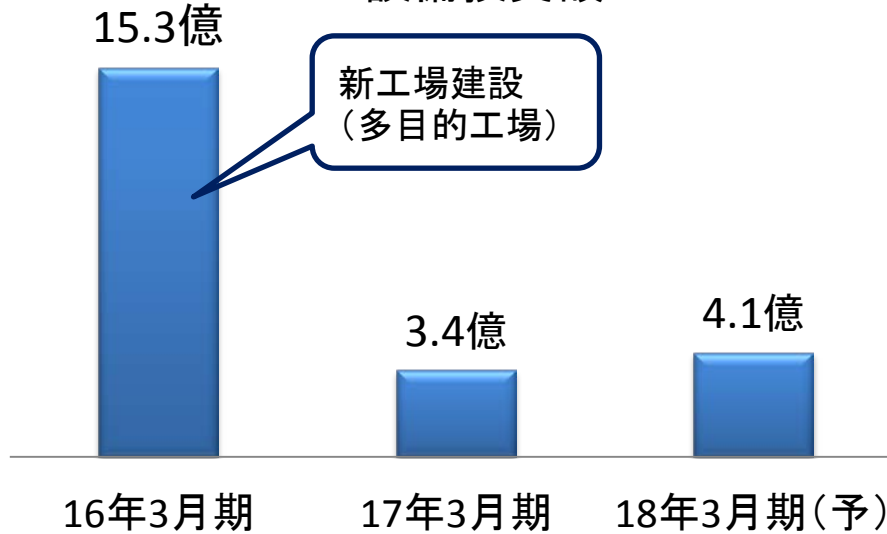
民需とサービス・メンテナンスに注力。

精密機械事業 : 中国・欧米市場への展開ならびに高精度機械の開発と拡販。

設備投資、減価償却費、研究開発費

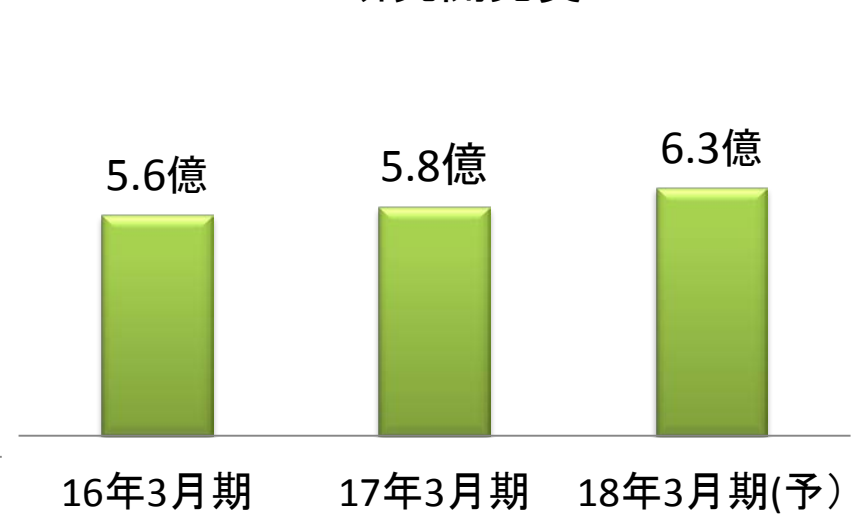
単位:億円

■ 設備投資額



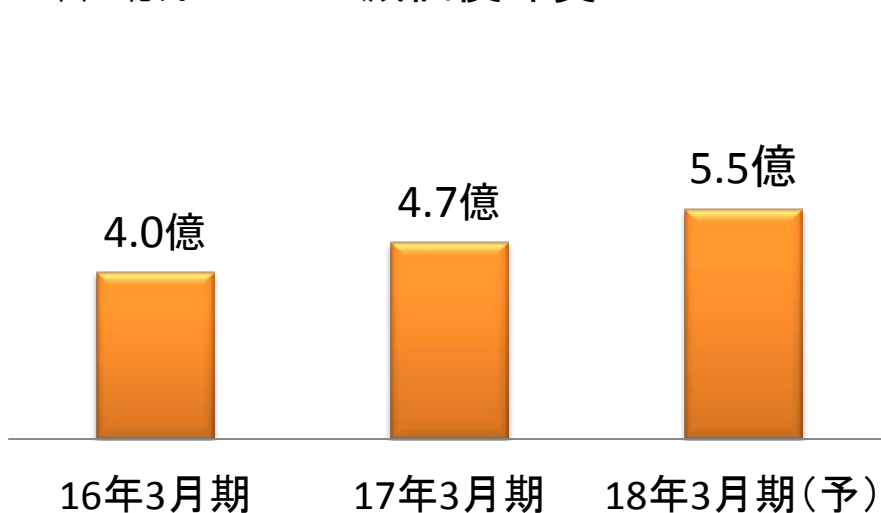
単位:億円

■ 研究開発費



単位:億円

■ 減価償却費



【設備投資額】

- 18年3月期は、横型マシニングセンタ等の設備投資

【減価償却費】

- 減価償却費は、横型マシニングセンタの償却負担増

【研究開発費】

- 研究開発費として、売上高の約3.5%を基準に継続投資

搬送機械事業の概況

□ 主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム

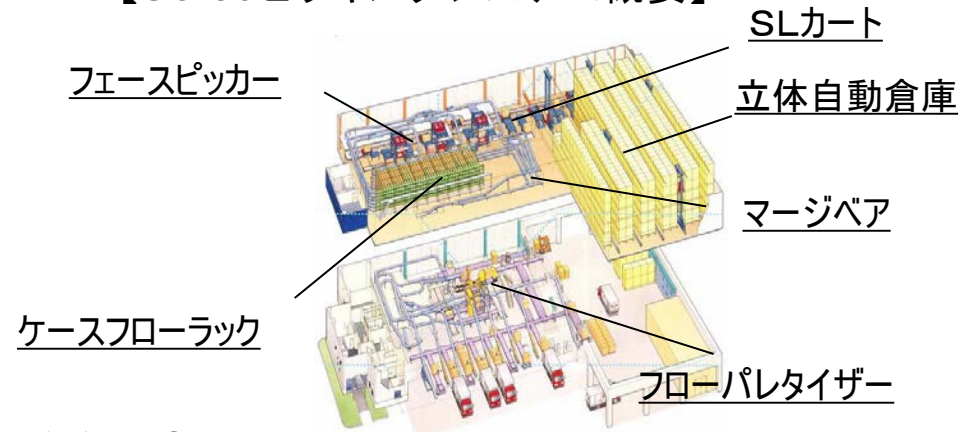
□ 事業の特徴

- 自社開発・販売
- オンリーワン商品の開発
- 24時間対応サービス体制
- 優れたソフト開発力

□ シェア(推定値)

- クレーン市場 20%
- 無人加工システム市場 50%
- ピッキングシステム
(高速分野) 35%

【Seibuピッキングシステム概要】



□ 主なお客さま

業界	客先名
食品	コカ・コーラ、山崎製パン、JT、森永乳業、森永製菓、日清オイリオ、日本アクセス、国分、サントリー、農心 他
化学、 医薬	花王、協和発酵キリン、田辺三菱製薬、沢井製薬、東和薬品、富士フイルム、積水化学、旭化成
機械	トヨタ紡織、マツダ、コマツ、ニガタマシンテック 他
電機機器	ファナック、日鉄住金テックスエンジ、安川電機、三菱電機、パナソニック 他
その他	コクヨ、JAL、パラマウントベッド 他

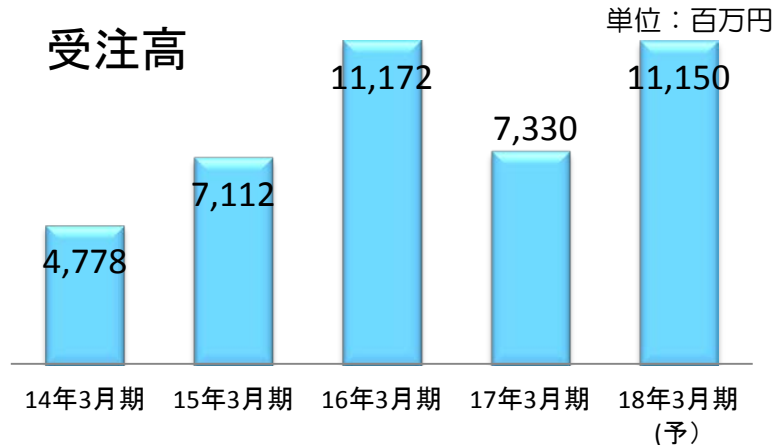
1. 既存顧客への深耕営業を展開。
自動化ニーズへの対応を図る。

2. 新商品による新市場の開拓を推進。

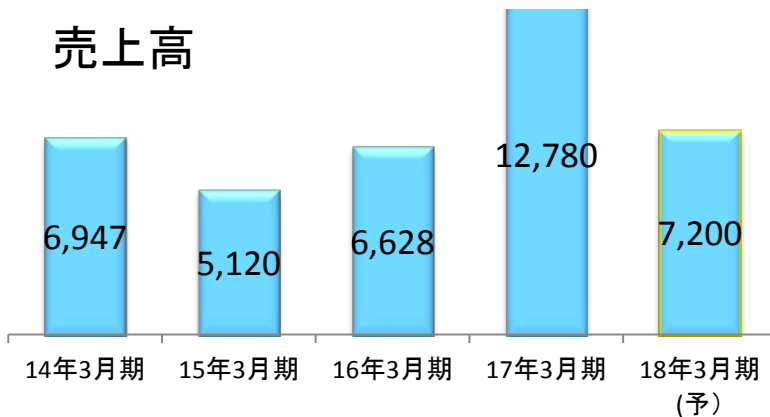
3. 豊田自動織機殿との提携範囲の拡大と連携を強化し、
自動倉庫設備市場のシェアを拡大する。

搬送機械事業 通期見通し

受注高



売上高



営業利益



重点施策

- 顧客の課題解決型『トータルソリューションシステム』の提案、製造・販売
- 『ロボティクス・マテハン』の開発、製造・販売
- 特殊クレーンを標準クレーン+αで対応可能に標準化し、既存需要層向け製造・販売
- 食品・医薬・電池・航空機部品・流通の各業界を重点に拡販。
- (株)豊田自動織機殿との機種統合による標準自動倉庫のOEM供給
- 海外販売(中国を中心に活動)

新商品



『ロボティクス・マテハン』

『ロボティクス・マテハン』

当社が今日まで培ってきた「メカトロメーション」技術と最先端のロボット技術、AI、IoTなどを取り込んだ「ロボティクス・マテハン」をコンセプトに製品・ソリューション開発を進めています。

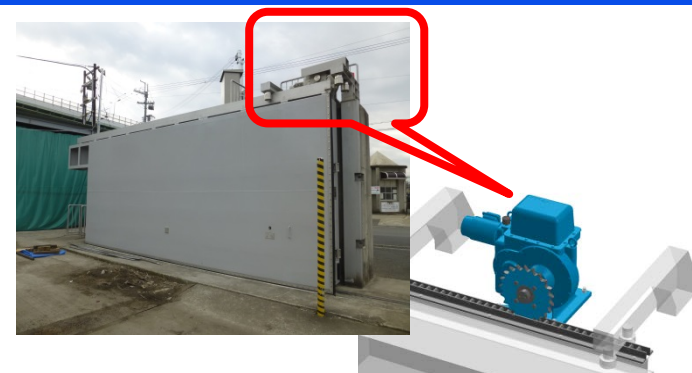
産業機械事業の概況

□ 主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置
- バルブ制御システム



(バルブアクチュエータ)
Semflex®シリーズ



(水平陸閘電動駆動装置)
水閘電: HPMシリーズ

□ 事業の特徴

- 高い市場占有率
- 納入実績72万台
- サービス・メンテナンス網の充実
(全国をカバー)

□ シェア(推定値)

- 上下水道 70%
- 電力・鉄鋼 20%
- 河川・ダム 36%

□ 主なお客さま

業 界	客 先 名
官庁関係	厚生労働省、国土交通省、 各地方自治体 他
バルブ・ ゲートメーカー 各社	前澤工業、栗本鐵工所、 クボタ、森田鐵工所、 西田鐵工、ミゾタ 他
電機・重工・ 造船各社	三菱電機、三菱重工業、 日立製作所、日立造船、 三井造船、中北製作所 他

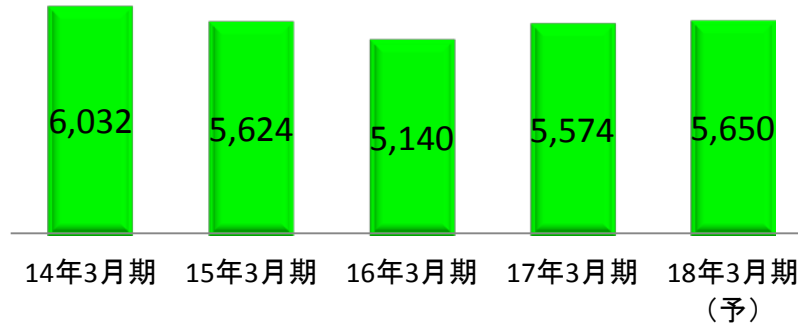
1. 深耕営業によって、上下水道市場ならびに電力でのシェア確保と拡大を図る。

2. 陸閘分野でのシェアを拡大する。

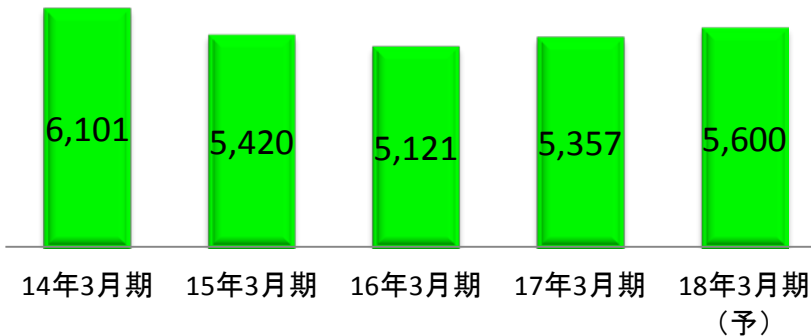
3. 世界に通じるインテリジェント ニュー モデルを開発し、海外プラントでの受注拡大を目指す。

受注高

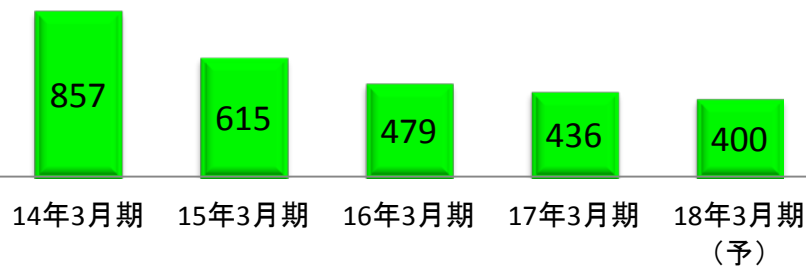
単位：百万円



売上高



営業利益



重点施策

- 国内火力発電所の更新需要や、ガス、化学など民間企業をターゲットにPROFIBUSシステムの受注の獲得。
- 造船・ガス分野に、VMMIによる電動化を推進。
- 横引きゲート開閉機の販売を展開。
- メンテナンス受注の獲得。
- 中国での電力・ガス関連の代理店とメンテナンス会社の開拓。

新商品

『防衛省護衛艦向け電動バルブアクチュエータ』



有事を想定した衝撃試験にも耐えられるように改良を行い、防衛省より採用認可を頂く。防衛省は国家安全保障の為、今後10年先までの護衛艦建造を見込んでおり、この市場への継続参入が期待されます。

精密機械事業の概況

□ 主要商品

【放電加工機】

- 超精密・高精密ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)

【工作機械】

- 高精密小形NC旋盤
- 高精度複合研削盤

□ 事業の特徴

【放電加工機】

- プレート加工におけるピッチ精度と加工安定性において、金型業界No.1
- ワイヤ自動供給装置は、業界No.1の高評価

【工作機械】

- 寸法や形状精度において高い加工精度と安定性
- 自動車や航空機関連の精密部品業界の受注拡大

□ シェア(推定値)

- 放電加工機 : 18% (国内生産分)
- 工作機械 : 高精度対象商品



(放電加工機) MEX15



(工作機械) SFG-28

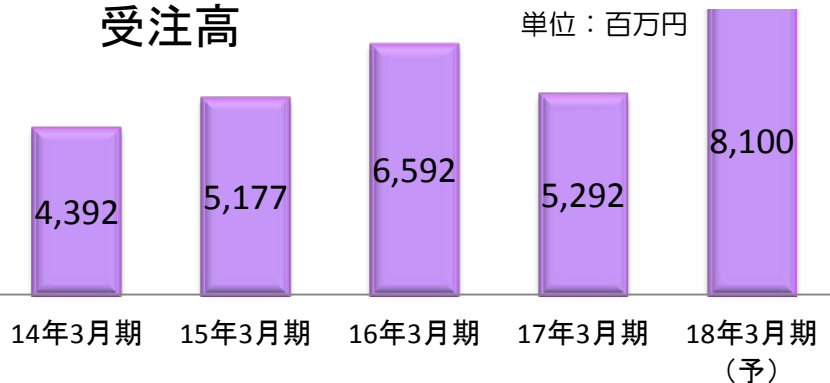
□ 主なお客さま

業界	客先名
精密金型	Foxconn、日本モレックス、サイバックコーポレーション 日本圧着端子、JX日鉱日石金属 ナブテスコ 他
自動車・航空機	日立オートモティブ、デンソー、アイコクアルファ、アイシン精機、エクセディ、SMC、CKD、ナブテスコ 他
電子・電機	日立製作所、三菱電機、ファナック、ミネベア、安川電機 他
光学	ニコン、SONY、コニカミルタ、三星電子、亜洲光学、富士フィルム 他

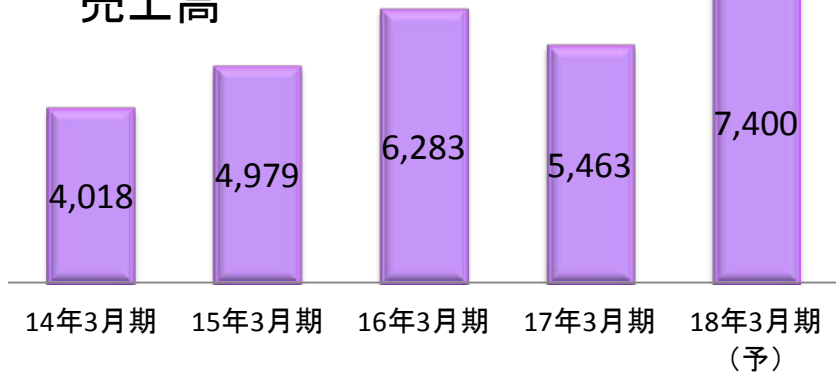
1. 地域別の販売戦略を展開し、海外受注の拡大を目指す。
2. 注目分野（放電：金型加工、工作：自動車業界）に向けたシステム開発、新ユニット開発を進め受注を確保する。
3. 保守、技術サポートを充実させ、顧客からの信頼度を高め、当社のブランド力と知名度をアップさせる。

精密機械事業 通期見通し

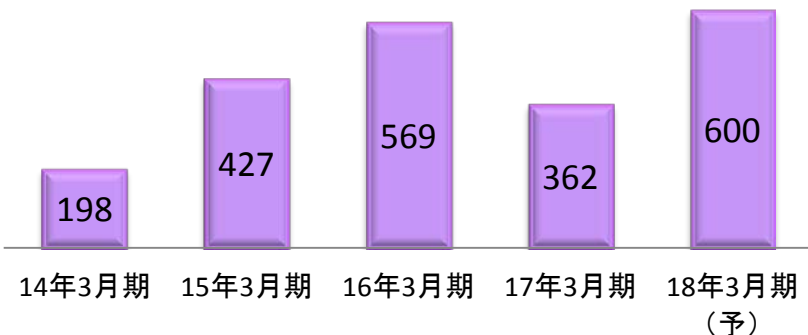
受注高



売上高



営業利益



重点施策

【放電加工機】

- 超精密機器『MEX15』の拡販
- プレート加工に特化した超精密加工機のラインアップ完成
- 高精密・超精密をアピールし、海外市場獲得

重点施策

【工作機械】

- 金型業界へ高精度研削加工機のSFGシリーズを拡販
- 高生産性の客先ご評価を基に、自動車及び航空機の高精度部品加工機として拡販

新商品

ワイヤ放電加工機『MEX15』

超精密を極めた油仕様ワイヤ放電加工機
当社放電加工技術の粋を集めた
フラッグシップモデル



- ① 門型構造とフルカバー構造により、高い対温度変化耐性
- ② サブミクロンの極微小な動きでも、スムーズで確実な動きをするシールレス構造を採用した、バーチャルクロステーブル
- ③ 最小仕様ワイヤ径φ0.03mmによる微細加工
- ④ 先進の大画面インターフェイスを持つ最新高分解能CNCを搭載

株 価 の 推 移

株価関連指標

株 価	1,280 円
P E R (株価収益率)	18.65倍
P B R (株価純資産倍率)	0.97倍

(2018年2月26日現在)

株価推移



配当政策、株主還元に対する考え方

利益還元につきましては、経営の重要課題の1つとして認識しております。配当政策については、安定的配当を基本としつつ、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期計画、財務状況、収益性を考慮しながら、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

■ 1株当たりの配当金実績と予想（2017年11月13日現在）

	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 (予想)
中間期	5.00円	6.00円	7.00円	7.00円
期末	7.00円	8.00円	7.00円	7.00円
年間	12.00円	14.00円	14.00円	14.00円

株主優待制度を新設いたしました。

3月31日現在の株主名簿に記載された
当社株式1单元（100株）以上保有の
株主様に当社オリジナルQUOカード
1,000円を贈呈いたします。



（サンプルとなります。）

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

超精密とメカトロメーション[®]を追求する

Seibu

西部電機株式会社

(東証二部・福証 証券コード6144)

〈お問合せ先〉 管理部 総務課

TEL : 092-941-1500

FAX : 092-941-1511

URL : <http://www.seibudenki.co.jp/>